

⑧ 工事における安全対策について

中越興業(株) 平湯川砂防樹林帯床固工工事
(工期:平成23年10月18日～平成24年3月30日)

現場代理人 四ッ島 盛博



1. はじめに

当現場は、神通川水系平湯川流域において河川内に自生している樹木を砂防林として利用するとともに、集中豪雨等の出水時に川岸の浸食、土砂の流出などを防ぐことを目的とした床固工事です。作業箇所直近上流には、しのぶ砂防堰堤、また遙か遠方には今もなお、噴煙が立ちこめる活火山焼岳を見上げての大自然の中での施工であり、また河川内での工事でもあることから、安全面はもちろんのこと環境にも配慮した施工を全作業員で取り組めるよう心がけました。

施工箇所位置図



堰堤の中に監査窓があり、観光客の新たな観光スポットとして広く利用されている。



導流堤の施工状況



村上橋

2. 工事概要

床固め工	床固め本体工	= 5 9 8 m ³
	垂直壁工	= 6 0 8 m ³

3. 安全対策について

本工事の施工は、河川内の作業となります。平湯川は、有名な溪流釣りの場所であり、漁解禁となれば多くの太公望が釣り糸を垂らす場所でもあります。工事で発生した濁水をそのまま放流した場合、水質汚濁による公衆災害が発生することが懸念され、濁水処理の対策を考えました。

また、施工時期が冬期間であることから、施工時期に対応した安全対策を行いました。

3 - 1 . 河川内の作業に伴う環境に対する具体的な対策について

工事区域内に沈砂池の設置

工事で発生した濁水を一旦、現場内の沈砂池を通過させてから放流しました。沈砂池は1次槽、2次槽の構造となっており、1次槽でまず沈降させ、2次槽でろ過させる構造としました。2次槽には、天然ヤシ繊維のフィルターを設置しました。



コンクリート作業時に発生する濁水対策について

コンクリートを多く使用する当現場では打設機材の洗浄や、打ち継ぎ目処理の際に発生する排水を一旦コンクリート濁水処理専用の水槽に貯留し、処理することとしました。

打継目処理作業中ポンプによる汲み上げ



水槽に一度貯水



打設終了時、バケットの洗浄中



水槽内のコンクリート洗浄水は、中和処理を行い、放流基準内であることを確認してから放流します。

3 - 2 . 作業員に対する安全対策について

作業員全員に安全チョッキを着用

現場での従事者全員に安全チョッキを着用させ、作業に従事しました。この時期、雨合羽等で黒っぽい服装となることから、少しでも作業員の位置がわかりやすくなるようにと、着用をすることとしました。その結果、重機と作業員の接触事故も無くまた、重機運転手からも周りに人がいることがよくわかると好評でした。



作業員への携帯型防寒用品の提供

当現場は日当たりが悪く、1月現在で午前10時頃になると晴天でも日照がありません。日陰での作業は寒さが厳しく、道路も常に凍結している状態です。作業員達は厚着及び防寒具の着用で寒さをしのいでいますが、その分動きが緩慢となり、転倒や転落・墜落の危険性も高まってくることから、身体を温めることを目的とした携帯型防寒用品を提供し、誰でもいつでも使用できるように、現場休憩所に常備しました。常に作業員が使用している状況が見受けられ、『これ、いいね』という声も聞くことができました。

携帯型防寒用品



4. 現場での防犯対策について

当現場は新平湯温泉付近にある現場ですが、夜間は真っ暗な状態です。そこで、防犯を目的とした対策として、事務所前のセンサーライトおよび事務所内の防犯用アラームを設置して、現場の防犯対策に努めています。



センサーライト



防犯アラーム



5. おわりに

当工事現場は厳しい寒さの中、現在も施工中であります。ここで報告しましたのは、よく目にする対策ばかりですが、今一度、初心に戻ることで、日々の小さなことの積み重ねが安全管理をより一層強化していくことを改めて感じました。今後も作業所一丸となって安全管理に取り組み、無事故・無災害を目標に工事完成を目指したいと思います。